



手すり付身長計(HP 20-T、HS 20-T)

取扱説明書

[ご使用の前に]

！製品の安全確認してから、ご使用ください

！ご使用の前に必ずこの説明書をお読みの上、正しくお使いください

[各部名称・組立て]

- ①主柱(メジャー付) 1本 ②台座 1台 ③カーソル(遊標) 1個
- ④手すり付ポール 2本 ⑤手すり固定バー 1本 ⑥転倒防止バー 1本
- ⑦各種ネジ〔ナット x 3、平ワッシャー(大) x 2、平ワッシャー(小) x 2、スプリングワッシャー x 2、トラスネジ x 2、六角穴付ボルト(大) x 1、六角穴付ボルト(小) x 4〕

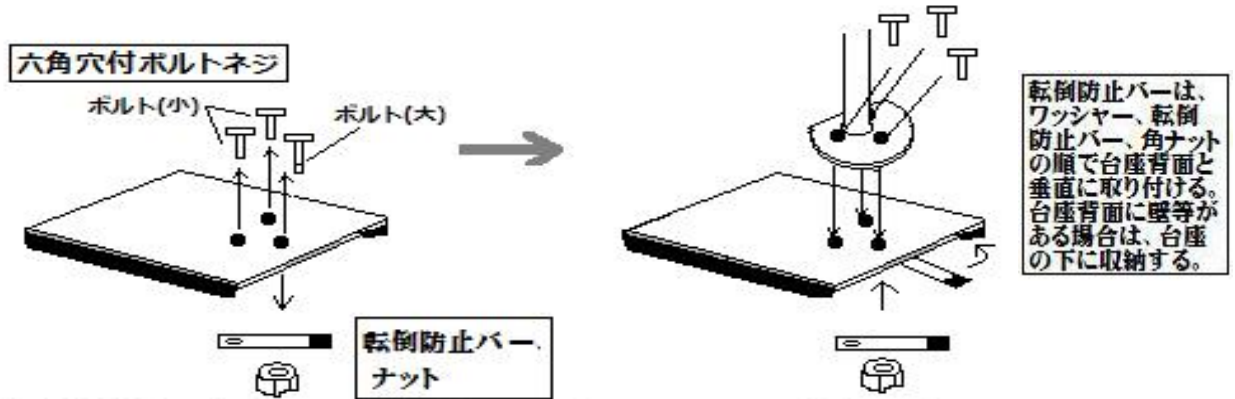
◎使用工具：+ドライバー、スパナ(10mmと13mm)またはモンキースパナ

※台座には六角穴付ボルト x 3、転倒防止バー x 1本、ナット x 1、角ワッシャー x 1 がセット済み

※手すり付ポールには六角穴付ボルト x 2、平ワッシャー(大、小) x 各2、スプリングワッシャー x 2

1. あらかじめ台座にセットされている六角ボルトネジ x 3本、転倒防止バー、ナットを外してから、図-I の様に台と主柱を取付けます。※台座背面に、壁等の身長計を支える物が無い場合は、台座背面と垂直に転倒防止バーを取付ける。支える物がある場合は、転倒防止バーを台座の中に収納する。
2. あらかじめ手すりポール下部にセットされている六角ボルトネジ、ワッシャー(大)、ワッシャー(小)、スプリングワッシャー(各2本)を取り外し、手すりポール下部と台座上部にある赤い矢印シールを合わせてネジ止めをする。(図-II参照)
3. 手すりポール中段の黄色シールとポール固定バーの両端にある黄色シールの場所を合わせ、あらかじめセットされているトラスネジをドライバーとスパナで増し締めして固定する。(図-III参照)
4. 主柱の上部先端よりそのままカーソルを差込んでください。 *カーソルの方向に注意!!(図-IV参照)
5. カーソル移動時は先端を持たずに後方を掴む様にし、ゆっくりと上下させてください。

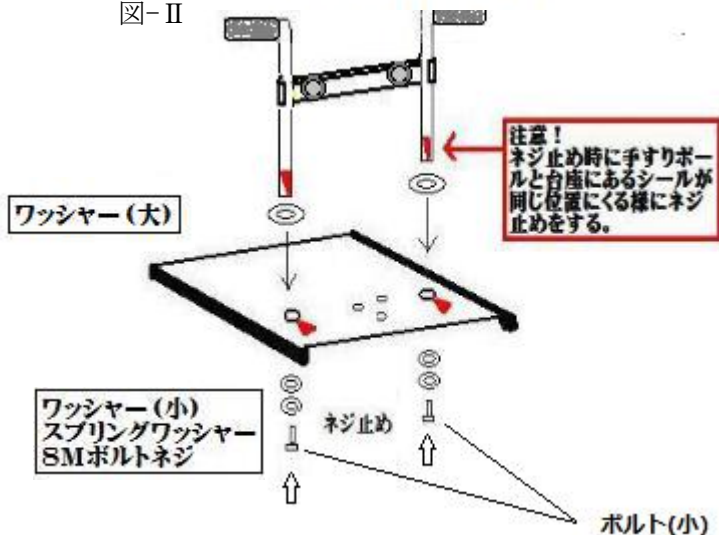
図-I



①あらかじめセットされているネジ類と転倒防止バーを外す

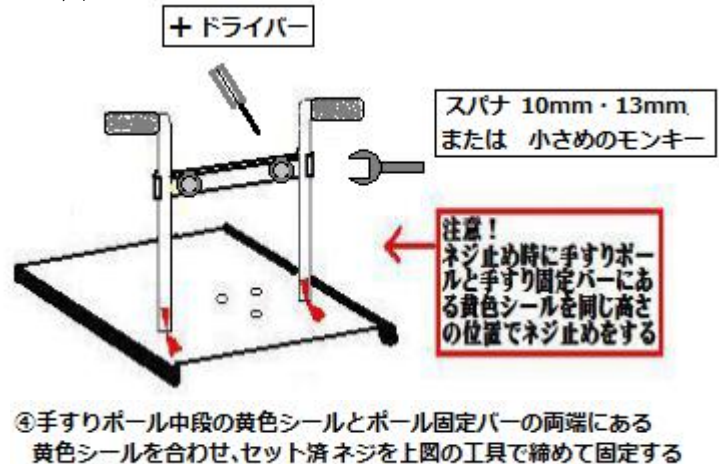
②主柱下部を上図の方向にて台にセットし、外しておいたネジ等で取り付ける

図-II



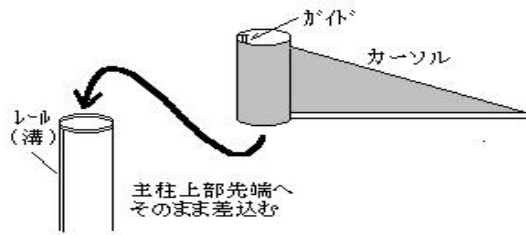
③手すりポール下部から六角ボルトを取り外し、手すりポール下部と台座上部にある赤い矢印シールを合わせてネジ止めをする。

図-III



④手すりポール中段の黄色シールとポール固定バーの両端にある黄色シールを合わせ、セット済ネジを上図の工具で締め固定する

図-IV

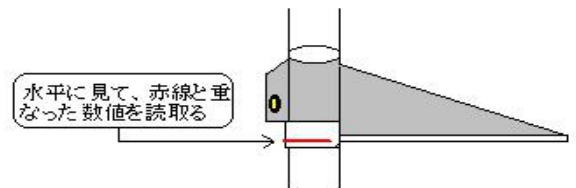


支柱後方の溝側にカーソル後方のカトをはめて垂直に差込んで下さい

- ⚠ カーソルを不適正な位置(真横等)に向けて支柱に差込みますと形状上、落下し危険ですでおやめください

[測定方法]

- ① あらかじめカーソルを上方へ移動させます。
- ② 身長計の台座に乗り（正面からを推奨）次に手すりを軽くつかんで静止します。
- ③ 支柱に対して真っ直ぐ立ち顎を引きます。
（両足のカカトは上げない）
- ④ 静かにカーソルを降ろし被験者の頭のにせませます。
- ⑤ 右図の様に読取ります。（W目盛仕様は左右両側から読取可能）
- ⑥ 測定終了後、手すりを放してからゆっくりと台座から降りて下さい。



[使用上の注意]

- ！ケガをする恐れがありますので、本機に飛び乗ったり寄りかかったりしないでください。
- ！転倒する恐れがありますので、必ず平らな場所に設置し、各部取付も確実にこなしてください。
- ！手すりは測定時に姿勢を保持する為のもので、台座に乗り降りの際には使用しないで下さい
- ！故障の原因となりますので、移動の際に振り回したり落としたりぶつけたりはしないでください。
- ！使用后、汚れた場合はベンジン、シンナー等は使わずに乾拭き(又は薄めた中性洗剤を使用)してください。
- ！分解および改造行為は絶対におやめください。*保証対象外および修理不能の恐れがあります。

[アフターサービスについて]

1. 修理、その他お問合せは本機をお買い求め頂いた販売店にご連絡ください。
2. 本機を正常にご使用いただいた上での保証期間はご購入後1年間となります。

株式会社 ツツミ 〒123-0851 東京都足立区梅田 2-11-1

㈱ツツミ松戸物流部 〒270-2223 千葉県松戸市秋山 754-15

<https://ttm-tokyo.com/>